

## 三俣診療班における診療活動の向上を目指して

代表者 八木 櫻 (医学部医学科3年)

### 1. 目的と概要

このプロジェクト事業は、北アルプスの三俣山荘に併設された診療所で夏季に行われている診療ボランティアを充実させるために、患者のカルテや薬剤管理の整備、そして講習会を行うことによって学生や登山者への医学的知識と技術の普及活動を実施することを目的とするものです。

### 2. 実施期間（実施日）

令和4年4月1日から 令和5年3月31日まで

### 3. 成果の内容及びその分析・評価等

このプロジェクト事業は、新型コロナウイルスの影響で、1・2・3・4年生のほとんどが三俣診療所での活動を経験しておらず、このような空白ができた中で、これからの活動にスムーズにつなげるため、学生の知識の充実化・器材や薬剤の管理・三俣診療班の広報活動を行うため、また以前まで使用していたPCではWindowsのサポート期間が切れていることに加え、機器の老朽化によりタッチ操作もできなくなってしまうことから、PCが必要だと考え、申請させていただきました。

また、このプロジェクト事業により、講習会などを行うことで学生の知識の充実させることができ、それが部員だけでなく登山客のより安全な登山につながると考えます。そしてこのPCによって患者のカルテや器材、薬剤の管理を、三俣山荘現地でも医学部キャンパス現地でもしっかり行うことができます。また、三俣診療班の活動は多くの寄付によって賄われているため、三俣診療班の周知に力を入れる必要があり、今年度三俣診療班の公式Instagramアカウントを開設いたしました。三俣山荘での活動だけではなく、日々の練習登山の様子もアップし、広報活動を行なっています。

なお、今回ご支援いただきまして購入いたしましたPCは、今年度の三俣山荘の荷上げに間に合わなかったため、三俣診療所で用いることができませんでした。そのため、来年度設置したいと考えております。

#### 4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

今年度の三俣診療所での活動では、7/29～8/24の期間で、合計33人の診療にあたりました。新型コロナウイルスによる行動規制の緩和や、5月には新型コロナウイルスの5類以降が決定している状況から、来年度の登山客の増加が推測されます。その中で、学生が知識を増やすこと、広報活動を介してより多くの医療関係者の方々に活動に参加してもらうこと、登山客向けの講習会を行うことは、登山客の方々により安心・安全に登山を楽しんでいただけたと考えられます。そして、三俣山荘を利用される登山者の方々に対する香川大学の知名度の向上とイメージアップにもつながると考えております。

2022年度 診療成績									
活動班		1班	2班	3班	4班	5班	6班	7班	合計人数
活動期間		7/29-7/30	8/2-8/4	8/6-8/8	8/10-8/12	8/14-8/16	8/17-8/20	8/22-8/24	
内科	感染症	1	3	0	0	0	0	0	4
	アレルギー	0	0	1	0	0	0	0	1
	消化器	1	0	0	0	0	0	0	1
	呼吸器	0	0	0	0	0	0	0	0
	筋・骨格	0	1	0	0	0	0	0	1
	循環器	0	0	0	0	0	0	0	0
	高山病	0	1	0	0	0	0	0	1
	その他	0	1	1	0	0	0	0	2
外科	表層	2	4	0	2	0	1	1	10
	深層	2	0	1	0	0	2	2	7
	虫刺され	3	0	0	0	0	0	0	3
その他		0	0	0	0	0	0	0	0
へり搬送		0	3	0	0	0	0	0	3
総数		9	13	3	2	0	3	3	33

#### 5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

三俣診療班での活動は、医療現場で実際に働く方々と共に活動し、学生の時から間近で医療行為を見学し、可能な範囲内でその補助を行うことができ、また講習会で一般の方々に向けて自分達が勉強した知識や技術を伝えるなど、大変貴重な経験を得られる機会であります。この経験によって身につけた知識・技術・心構えはきっと将来医療に関わっていく際に大いに役に立つと考えます。加えて、三俣診療班は岡山大学医学部と協力して活動を行なっています。この活動を通じて知り合った仲間は、将来医療に携わる者同士、一生の仲間にもなりうると考えています。

#### 6. 反省点・今後の展望（計画）・感想等

今回のプロジェクトにおける反省点は、当初計画していたように、支援してくださったPCを三俣山荘に荷上げすることができず、使用できなかったことです。来年度の山荘でのPCの用途としては、診療所でのカルテ・薬剤・器材の管理、診療記録のデータ化、現地状況の把握のための下界との連絡、また登山客との交流許可がおりましたら、登山客に向けての学生による講習会(高山病や捻挫の予防、対処法、心肺蘇生など)や、外部の講師の型による登山講習会などを開催したいと考えています。

今年度は、2年ぶりに三俣山荘での活動を再開することができました。また、練習登山、勉強会、AED講習会なども再開し、実践練習と共に知識の充実化も図ることができました。今年、得た技術や知識をもとに来年度以降の後輩の育成に努め、この活動を安全に実施し、充実させ、これからも継続できるよう精進してまいりたいと思います。



## 7. 実施メンバー

代表者	八木 櫻 (医学部3年)	
構成員	天満 翔一郎 (医学部6年)	高橋 雅彦 (医学部5年)
	宮川 友結 (医学部6年)	豊島 万里奈 (医学部4年)
	鶴田 詩織 (医学部6年)	古市 一真 (医学部4年)
	水尾 友美 (医学部5年)	上田 夏鈴 (医学部4年)
	高岡 一翔 (医学部5年)	大西 健太 (医学部4年)
	大島 基 (医学部5年)	吉成 祐南 (医学部4年)
	田部井 優真 (医学部5年)	岡本 萌桃 (医学部4年)
	吉田 颯太 (医学部5年)	高場 晋吾 (医学部4年)
	森 瑛莉子 (医学部5年)	飯田 太陽 (医学部3年)
	伊達 翼 (医学部3年)	杉町 美佳 (医学部3年)
	池田 冬那 (医学部3年)	勝藤 鈴乃 (医学部3年)
	久保田 裕司 (医学部3年)	中所 美沙子 (医学部3年)
	八木 櫻 (医学部3年)	加藤 拓海 (医学部3年)
	山田 理沙 (医学部3年)	上村 紅葉 (医学部2年)
	岡 尚希 (医学部2年)	野辺 陽太 (医学部2年)
	福武 拓海 (医学部2年)	本木 僚 (医学部2年)
	近藤 穂佳 (医学部2年)	川村 結衣 (医学部2年)

## 8. 執行経費内訳書

配分予算額		200,000円		
執行経費(品目等)	数量	単価(円)	金額(円)	備考
PC FUJITSU FMVU43004P LIFEBOOK U7311/HX	1	157,500	173,250	
ワイヤレスマウス ロジクール M190MG	1	1,800	1,980	
エレコム パソコンケース インナーバッグ ブラック BM-IBLW13BK	1	2,500	2,750	
外付けハードディスク HDPT-UTS500K	1	7,800	8,580	
合計			186,560	